



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取組み～

平成22年5月31日

環境大臣 小沢 鋭仁 殿

株式会社 熊谷組

取締役社長 大田 弘

株式会社熊谷組は、建設事業を行う企業としての社会的責任を全うし、事業を通じて起こり得る環境負荷を明確にし、可能な限り防止するなど、サステナブル(持続可能)な社会の実現に向けた以下の取組みを進めてまいります。

1. 建設事業を通じて「低炭素社会」の構築を推進します。

- 工事施工時のCO₂排出量(総量)を、使用する建設機械、車輛の省燃費運転の実施の徹底により、1990年度比で2020年度には87%削減、2050年度には95%削減を実現します。原単位(※)では、1990年度比で2020年度には50%削減、2050年度には80%削減を実現します。
※原単位:t-CO₂/億円(工事金額あたり)
- 建物運用時のCO₂排出量の低減のために、CASBEE評価の実施により企画設計段階において積極的に省エネ・ゼロエミ建築を提案します。
- 事務所(全国のオフィス)でのCO₂排出量(総量)を2009年度比で2020年度までに10%削減します。

2. 工事現場において「循環型社会」の形成を推進します。

- 工事で生じる廃棄物を削減するため、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に努め、2020年度には全ての作業所で混合廃棄物の排出量を以下のとおりにします。
 - ・ 建築工事の目標値: 混合廃棄物の排出量が 延床面積あたり 10 kg/m²未満
 - ・ 土木工事の目標値: 混合廃棄物の排出量が 工事金額あたり 0.5 t/億円未満

3. 「自然共生社会」を目指し、生物多様性に配慮した取組みを推進します。

- 工事施工時に、全ての作業所において生物多様性についての評価を行い、生物多様性の保全および持続可能な利用に配慮し、行動します。
- 生物多様性に配慮した環境整備を積極的に提案します。

4. 「持続可能な社会」の実現のためにグリーン購入を推進します。

- 建設資機材の購入にあたり、リサイクル製品、環境への影響を低減した製品などを可能な限り選定します。
- 2020年度目標を定め、全ての作業所でグリーン購入に取り組みます。
 - ・ 建築工事の目標値: グリーン購入率(※)15%以上
 - ・ 土木工事の目標値: グリーン購入率(※)21%以上※グリーン購入率=グリーン品目購入費÷工事金額

5. 環境に配慮した技術、手法の開発、改良、普及に努めます。

- 2020年度までに環境に配慮した技術の開発、適用を30件以上実施します。

6. 地域社会の環境保全活動に積極的に参加します。

- 地域社会の美化のために、事業所および作業所周辺地域の清掃を行います。
- 次世代を担う子どもたちへの環境学習を支援します。
- 地域の主催する環境保全活動に全社で参加します。

7. 環境情報を積極的に開示し、コミュニケーションに努めます。

- 環境パフォーマンス、取組内容の進捗状況などについて、様々なステークホルダーと双方向のコミュニケーションを保ちつつ、率先して改善に努めます。

株式会社熊谷組は、上記取組みの進捗状況、結果についてCSR報告書などで積極的に公表するとともに、環境省へ報告します。



熊谷組